

- 「確かな学びを促す3つの重点」を基に、資質・能力が高まった生徒の姿とそのために有効な働き掛けを教科等で明らかにすること
- 生徒が身に付けた資質・能力の高まりをより実感できる評価方法を明らかにすること。なお、評価にあたっては、成績や評定付けのための「学習の評価」としての評価ではなく、評価者が学習者であり、学習者が自らの学びを評価する「学習としての評価」を前提として進める。
- 生徒が教科等横断的に自分の生き方に必要な資質・能力として実感できるカリキュラムづくりの在り方を明らかにすること。